

あい とらいほーす  
i トライホース

取り扱い説明書



この度は、弊社商品「i トライホース」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
組み立て前に、必ず本取り扱い説明書をご一読いただきますようお願い申し上げます。

ご注意

- 当製品は、運動発達の遅れている（重度）障害児を対象としていますので、ご使用の際には必ずお子様の担当医師または理学療法士、作業療法士など専門家にご相談ください。
- 障害の有無にかかわらず、バランス遊具としてもご使用いただけます。
- 激しく揺らす（揺り脚パーツ前後の突起部位に激しくぶつけるまたは連続してぶつける）と接着面が剥離し、転倒と製品破損を引き起こす可能性があります。
- 製作キットとしての製品につき、組み立て後はご使用前に安全性の確認を必ず行なってください。
- その他の注意事項は、本取り扱い説明書中の「2.安全上のご注意」をよくお読みください。

1.箱の中身を確認してください P1

2.安全上のご注意 P2

3.組み立て方 P3 ~ P8

4.商品の特徴 P9 ~ P10

5.弊社商品のご紹介

6.お問い合わせ

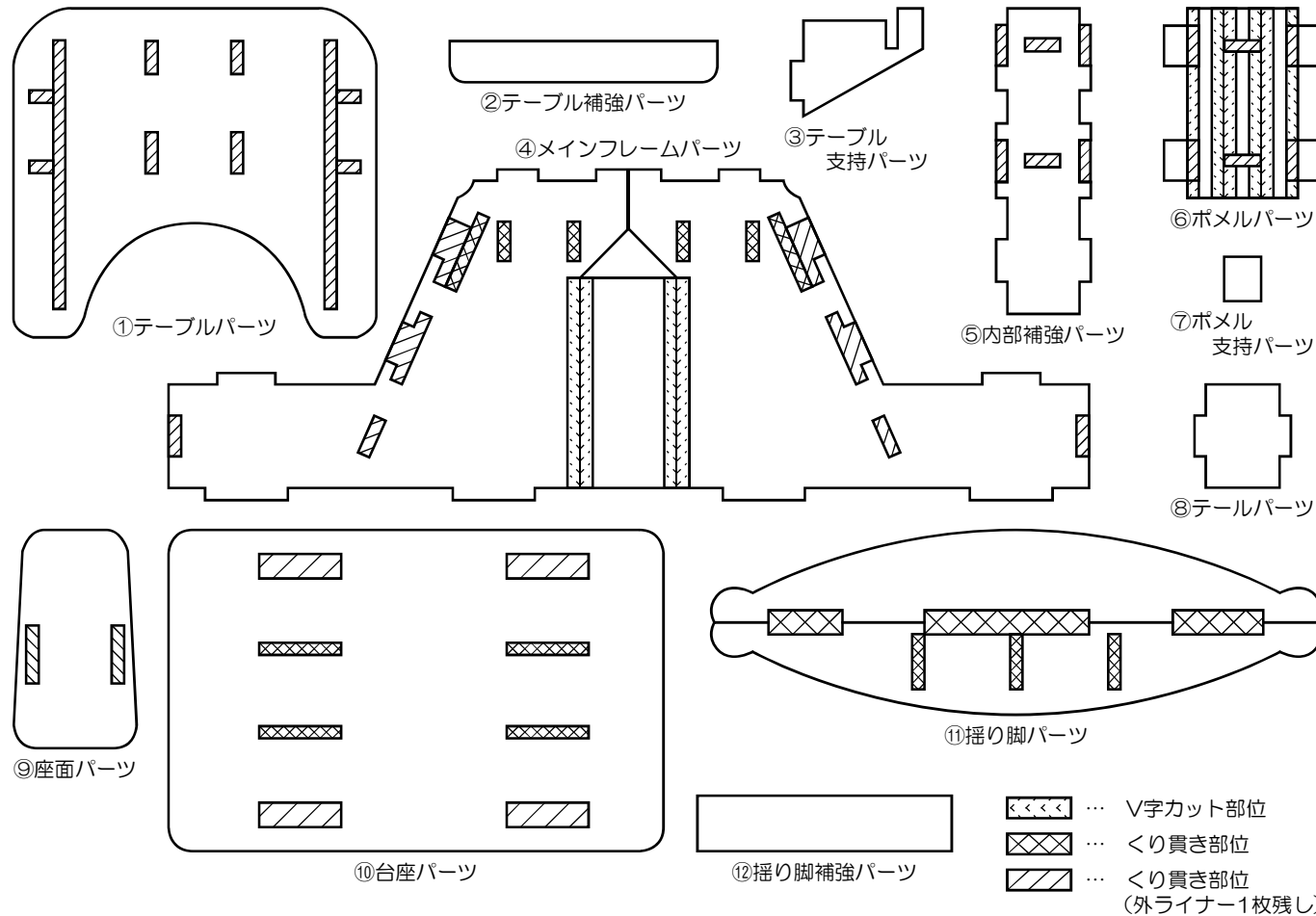
販 売：株式会社アサヒテックコーポレーション  
製 造：株式会社アサヒパクテム  
設計・監修：繁成 剛（長野大学 社会福祉学科 教授）  
株式会社アサヒテックコーポレーション

# 1.箱の中身を確認してください

組み立てに取り掛かる前に、箱の中のパーツを確認してください。

<ダンボールパーツ>

名称	数量	名称	数量	名称	数量
①テーブルパーツ	1	⑤内部補強パーツ	1	⑨座面パーツ	1
②テーブル補強パーツ	2	⑥ポメルパーツ	1	⑩台座パーツ	1
③テーブル支持パーツ	4	⑦ポメル支持パーツ	2	⑪揺り脚パーツ	2
④メインフレームパーツ	1	⑧テールパーツ	1	⑫揺り脚補強パーツ	3



<その他パーツ>

名称	数量	名称	数量	名称	数量
⑬テーブルカバー	1	⑯サポートベルト	1	⑲接着剤（木工用）	1
⑭ポメル座面一体カバー	1	⑰足パッド	2	⑳取り扱い説明書（本書）	1
⑮ウレタンバー	1	⑱マジックテープ（B面）	12		



**重要** パーツに不足や欠陥があった場合は、速やかにご購入店または弊社お客様窓口（本取り扱い説明書中の『6.お問い合わせ』）までご連絡ください。

# 2.安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、記載事項をお守りください。

使用制限 定員1名

年齢制限・体重制限は設けておりませんが、小児向け製品のため成人又は準ずる方のご使用はお控えください。

表示・図記号の説明

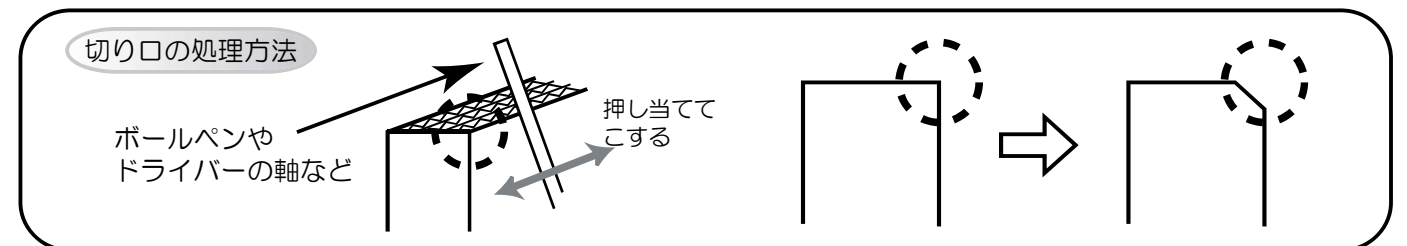
	警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		禁止	してはいけない「禁止」内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると人が障害を負う可能性や物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。		強制	必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告・注意事項など

		保護者またはそれに準ずる方の管理の下ご使用ください お子さまだけで使用されますと、思わぬ事故が発生する恐れがあります。特に緊張の強いお子さまや多動性のお子さまが使用される場合はご注意ください。			暖房器具の近くで使用したりライター等の着火物を近くで使用しないでください 火災の原因となることがあります。
		指定位置に着座してご使用ください 立ち乗りや座面以外に着座してのご使用は危険ですのでお止めください。			ウレタンバーを指や歯で切り取らないでください 誤って口に入れると喉に詰める恐れがあります。
		平らな床面でご使用ください 過度に傾斜し、製品からの転落や製品の転倒によりケガをする恐れがあります。			飲み物などをこぼした時はすみやかに拭き取り風通しの良いところで陰干ししてください 濡れたまま放置されますと、ダンボール部位の強度が劣化し壊れ易くなります。
		激しく揺り動かさないでください 運動発達が遅れている（重度）障害児向けの製品のため、保護者管理の下、緩やかに揺らして使用することを前提としています。激しく揺り動かしますと、製品からの転落や製品の転倒、製品破損によりケガをする恐れがあります。			肌トラブルが現れた場合は直ちに使用を中止し皮膚科専門医にご相談ください ダンボールとの接触により、赤み・はれ・かゆみ・しげきなどの異常が発生することがあります。
		当製品を踏み台にしたりテーブル面に乘ったりしないでください 転んでケガをする恐れがあります。また製品破損の原因になります。			屋外でのご使用はお控えください 接地面不安定による転倒の恐れと、湿分によりダンボール部位の強度が劣化し壊れ易くなります。

つぎのようなことにも注意してください

- ダンボールの切り口（断面）で手などを切らないように注意してください。組み立て作業中は、軍手等の保護具を着用するとともに、下図のように処理することをおすすめします。



- 木工用ボンドは、本体裏面の使用方法や取り扱い上の注意等をご確認の上、正しくご使用ください。完全乾燥には夏場で24時間以上必要です。ただし、1~2時間で仮接着しますので組み立て作業は可能です。
- 貼り付ける際に木工用ボンドがはみ出たり余計なところに付着した場合は、速やかに拭き取ってください。次工程の組み立てに支障をきたす場合があります。
- 使用時には、保護者の方や周囲の大人の方が十分注意してあげてください。



### 3.組み立て方


0

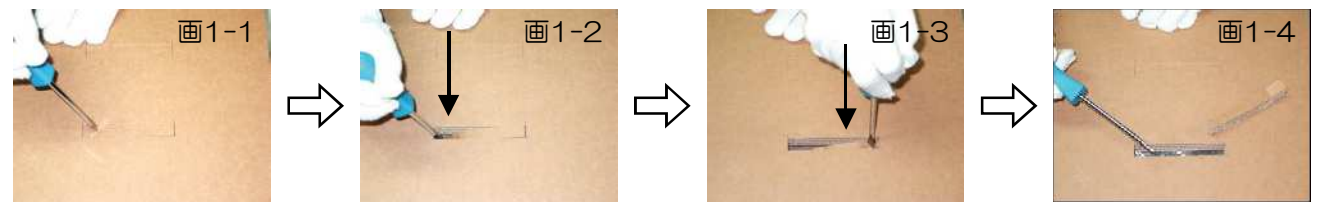
準備していただくもの

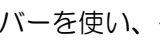
- ・軍手（保護具）
- ・マイナスイドライバー
- ・おもし（電話帳など厚めの書類が最適です）
- ・カッター（ウレタンバーカット用）

**!** ダンボール断面で手や指の怪我（切創災害）を防ぐため、軍手等の保護具を着用の上、組み立て作業を行なってください。  
強制

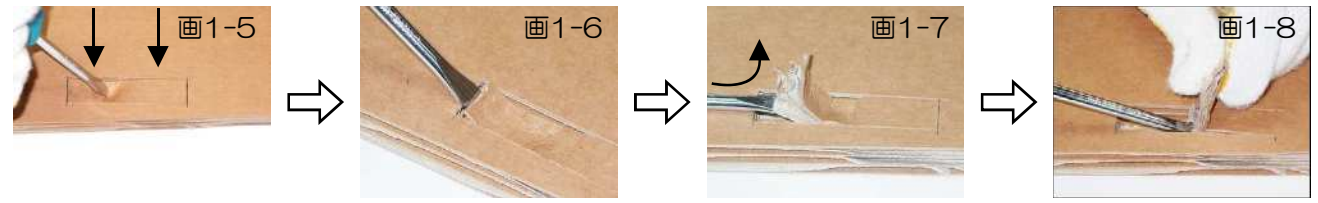
1

①1ページにあるパーツ図の斜線部位（)をマイナスイドライバーを使い、カットライン内側を上から押し出すようにくり貫きます。（画1-1～画1-4）



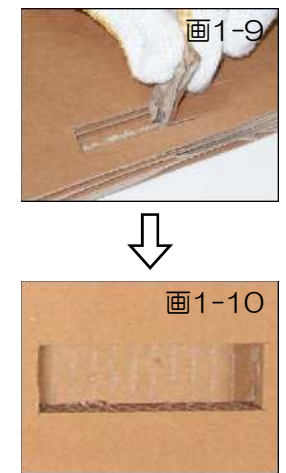
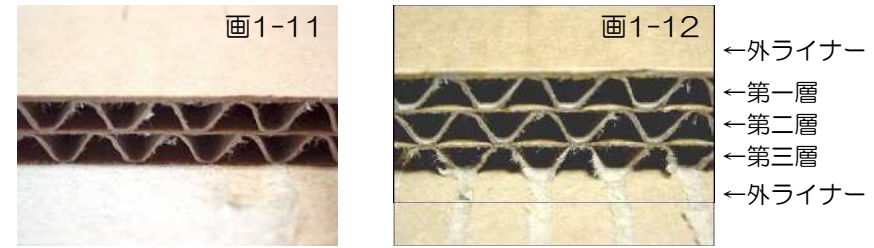
②1ページにあるパーツ図の斜線部位（)をマイナスイドライバーを使い、外ライナー1枚を残してくり貫きます。

- ・マイナスイドライバーを使いカットライン内側全体を上から押し潰します。（画1-5）
- ・端からめくり上げて、はがしていきます。（画1-6～画1-9）

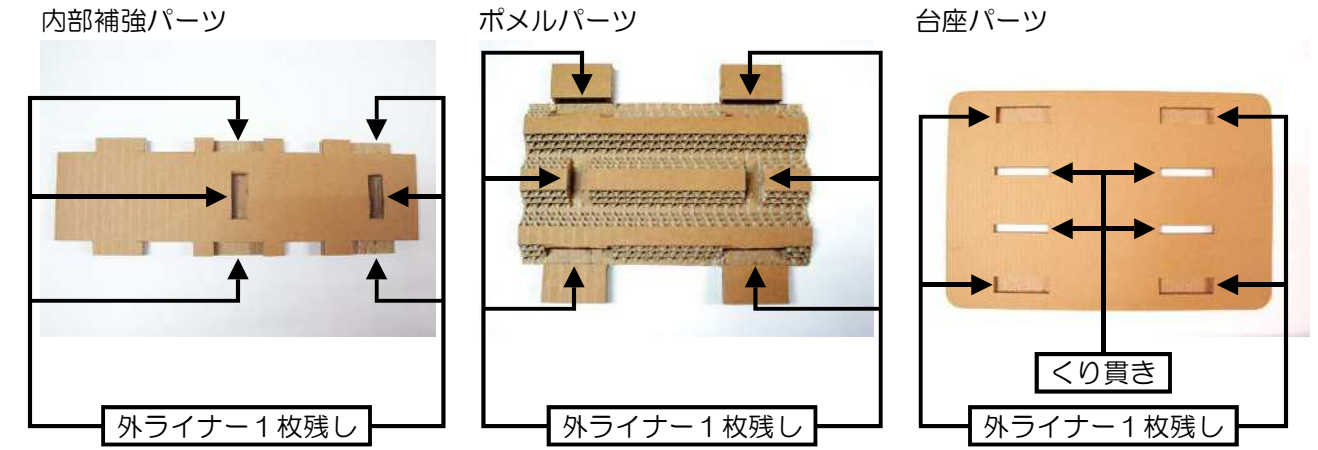


**注意** 外ライナー1枚を残してくり貫く場合

- ・画1-11は二層しかはがれていません。
- ・画1-12のように三層が確認できればOKです。



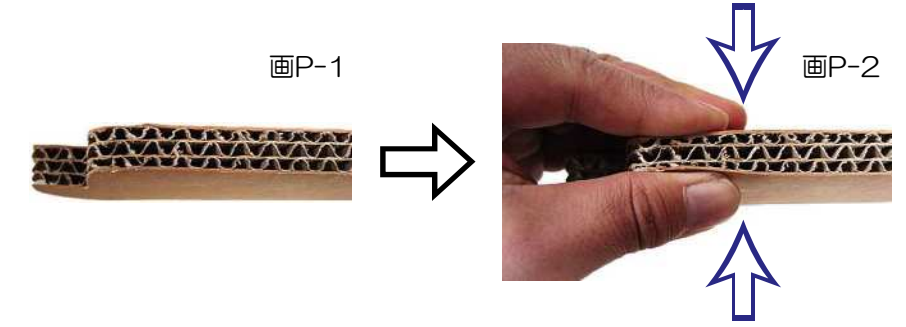
くり貫き後のパーツ（一部）



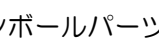
### ここがポイント!

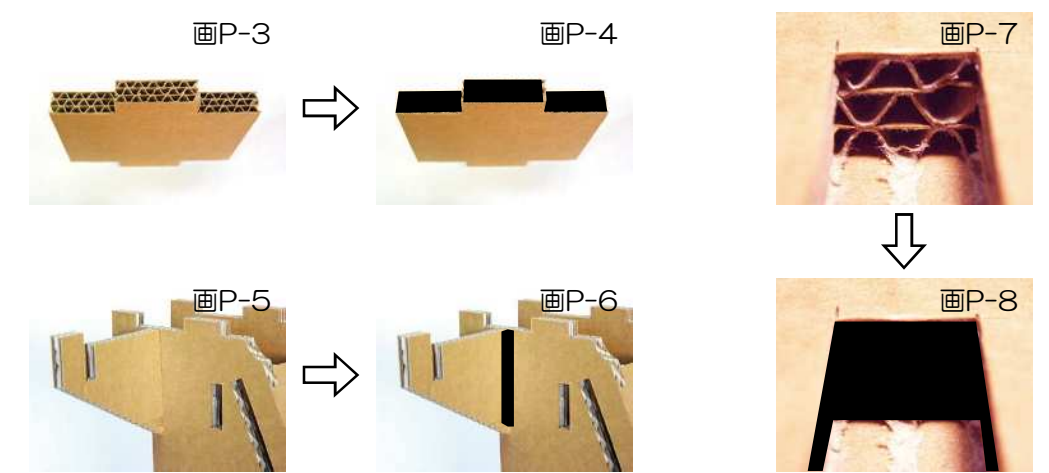
《仮組み》

くり貫き作業が終われば、組み立て方に沿って、ボンドを使わずに仮組みしてください。組み込み部位が溝穴に入りにくい場合は、組み込む部分（先端）を少し潰すと入りやすくなります。（画P-1～画P-2）  
但し、潰しすぎると接着面に隙間ができ、固着しにくくなりますのでご注意ください。



《木工用ボンドの塗布》

⑤の工程を除く全ダンボールパーツ同士の接着（接合）面にボンドを塗布して組み付けてください。（部分）  
ダンボール断面（画P-3～画P-4）や完成後目に付きにくい接合部（画P-5～画P-6）、差し込み穴の断面（画P-7～画P-8）にも塗布してください。  
ボンドのつけ過ぎにはご注意ください。



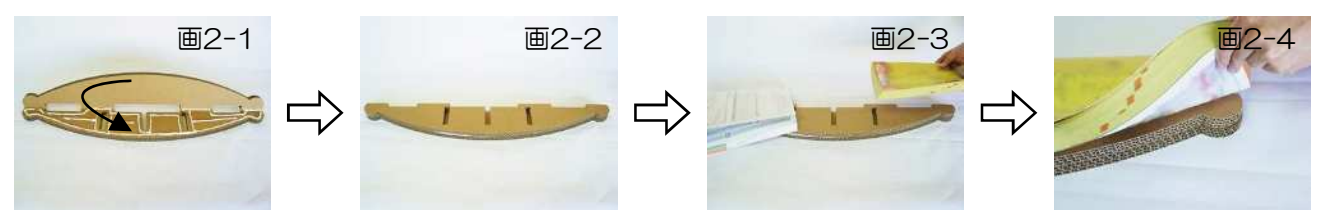
ボンドがはみ出たり余計なところに付着した場合は、速やかに拭き取ってください。乾燥し固形化すると、次工程の組み込みに支障をきたす場合があります。

2

揺り脚パーツを切れ目に沿って二つ折りし、穴の開いた側に木工用ボンドを塗布して貼り合せてください。（画2-1～画2-2）  
ボンド塗布後、おもしを載せて1～2時間（夏場）静置し、定着させてください。（画2-3～画2-4）

**注意** 揺り脚パーツの貼り合わせ（二つ折り）について

図Aの点線で囲った部分の貼り合わせ断面が均一になるようにしてください。（後工程で断面を組み込み及び接着します）  
その結果、弧を描いた部位で数mm程度のズレが生じることがありますが、強度上問題ありませんのでそのままご使用ください。使用を続けると荷重によりなじんできます。（※返品・交換の対象にはなりません）

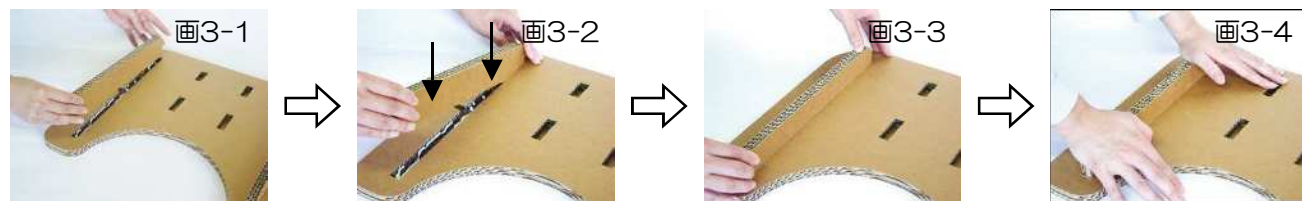




3

木工用ボンドを使用し、テーブルパーツにテーブル補強パーツ（2カ所）を取り付けてください。

テーブルパーツ側にボンドを塗布し、組み込んでください。（画3-1～画3-4）

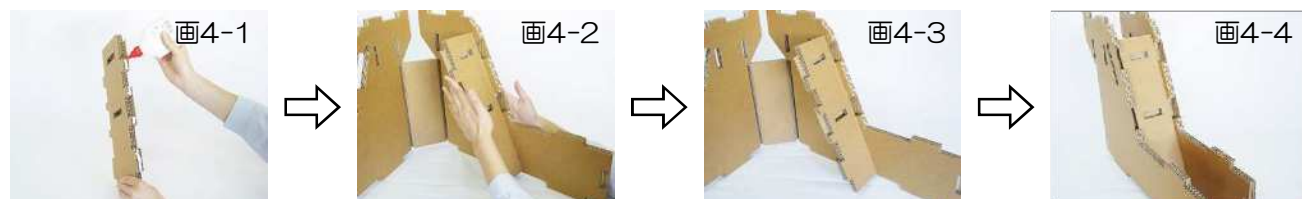


4

木工用ボンドを使用し、メインフレームパーツに内部補強パーツ、テールパーツ、テーブル支持パーツの順に組み付けてください。

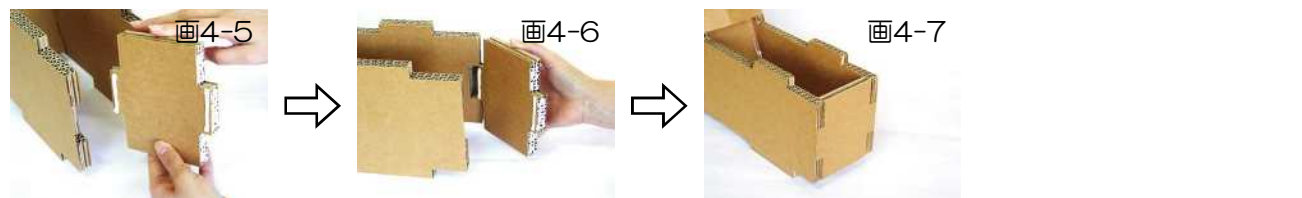
①内部補強パーツの組み付け

- ・内部補強パーツ側に木工用ボンドを塗布してください。（画4-1）
- ・くり貫いた面を外側にし、くり貫いた部位が上方にくるように組み付けてください。（画4-2～画4-4）



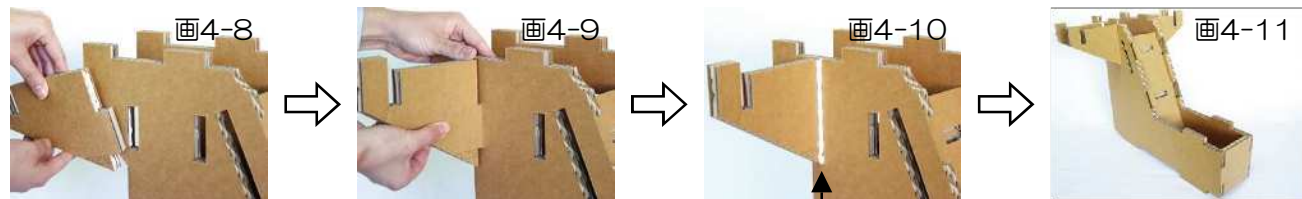
②テールパーツの組み付け

- ・テールパーツ側に木工用ボンドを塗布し（画4-5）組み付けてください。（画4-6～画4-7）



③テーブル支持パーツの組み付け（4カ所）

- ・テーブル支持パーツの断面（接地する2カ所）とメインフレームパーツの差し込み穴断面手前側に木工用ボンドを塗布し（画4-8）組み付けてください。（画4-9～画4-11）



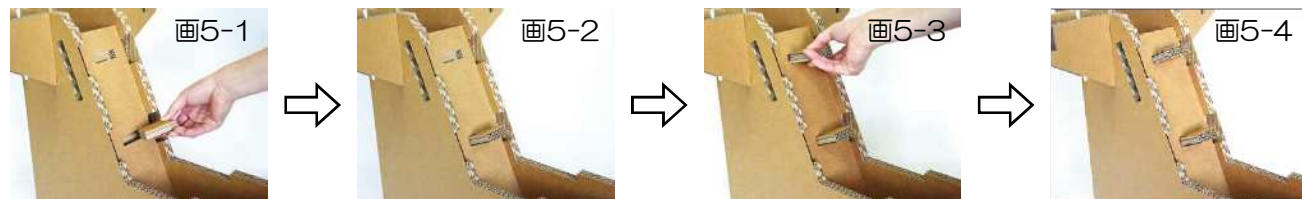
外観上目立たない所にも塗布し、補強することをお勧めします。

5

4で作成したものに、ポメル支持パーツとポメルパーツをはめ込んでください。（木工用ボンドは使いません）

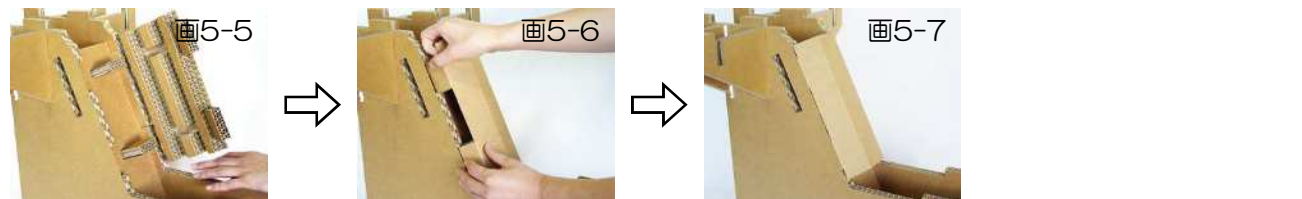
①ポメル支持パーツの組み付け（2カ所）

- ・内部補強パーツのくり貫いた部位にポメル支持パーツをはめ込んでください。（画5-1～画5-4）



②ポメルパーツの組み付け

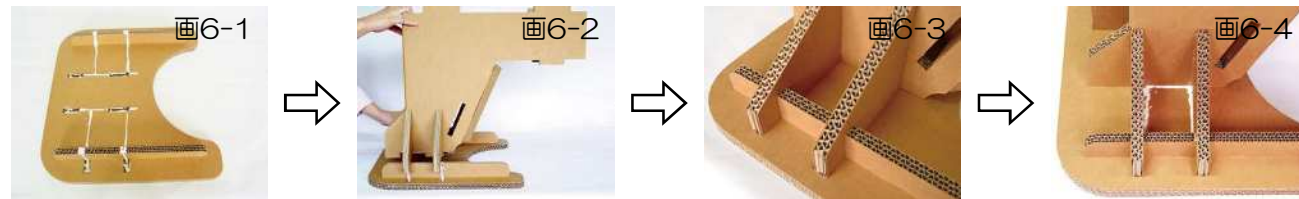
- ・メインフレームにポメルパーツをはめ込んでください。（画5-5～画5-7）



6

木工用ボンドを使用し、3で作成したテーブルに5で作成したメインフレームを組み付けてください。

- ・テーブル側に木工用ボンドを塗布し（画6-1）組み付けてください。（画6-2～画6-3）  
仮組み時に印を付けておくくと効率的です。
- ・組み付け後、テーブル支持パーツ内側にも木工用ボンドを塗布し接着してください。（画6-4）

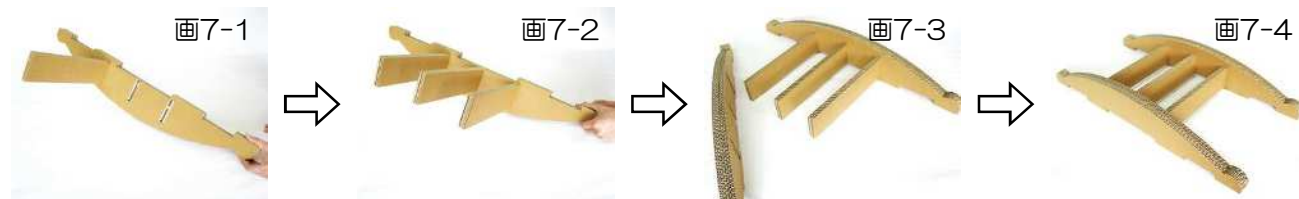


7

揺り脚パーツが仮接着（2で作成。貼り合わせ後おもしろを載せて1～2時間（夏場）静置が目安。）していることが確認できれば、木工用ボンドを使用し揺り脚パーツに揺り脚補強パーツを取り付け、さらに台座パーツに取り付けてください。

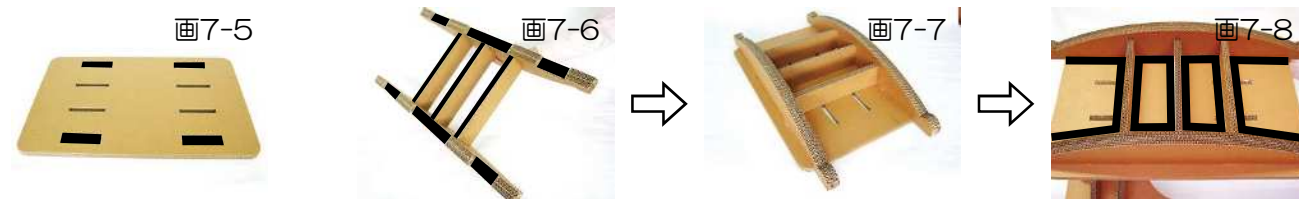
①揺り脚パーツと補強パーツの組み付け

- ・揺り脚パーツ側に木工用ボンドを塗布し（画7-1）組み付けてください。（画7-2～画7-4）



②台座パーツと7①の組み付け

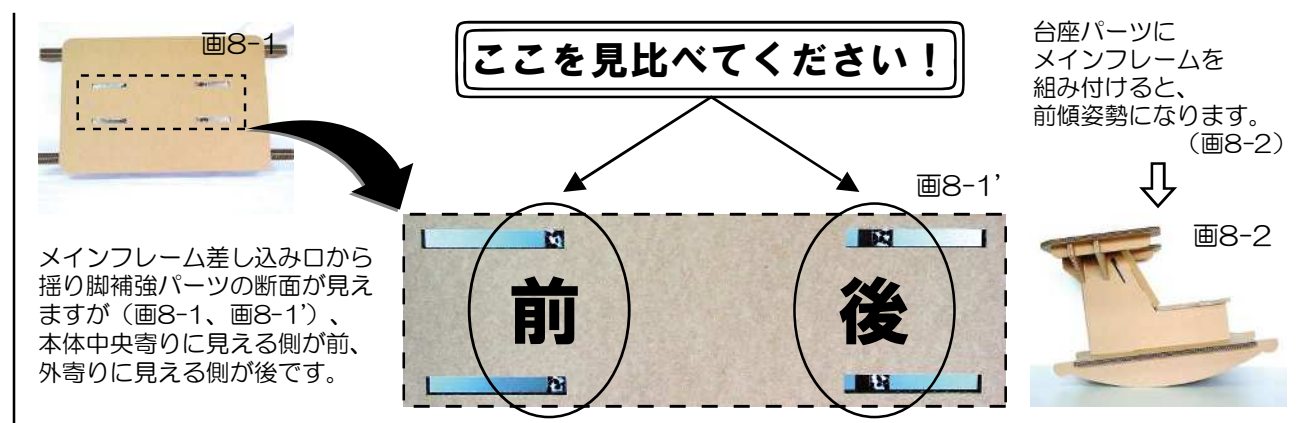
- ・■部分に木工用ボンドを塗布し（画7-5～画7-6）組み付けてください。（画7-7）
- ・取り付け後、画7-8の■部分にも木工用ボンドを塗布し、台座パーツを下にして1～2時間（夏場）静置し仮接着させてください。



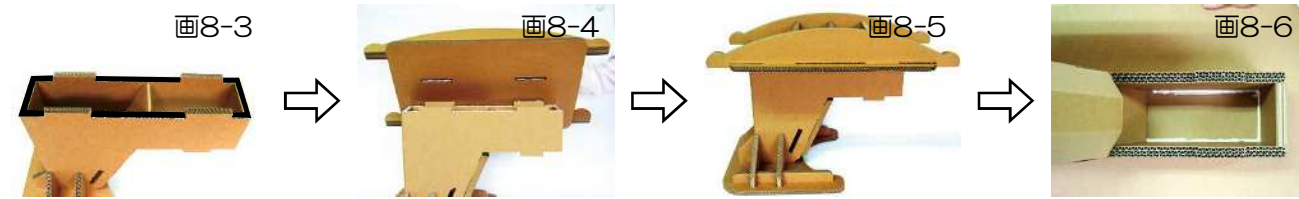
8

台座パーツが仮接着（7で作成。1～2時間（夏場）静置が目安。）していることが確認できれば、木工用ボンドを使用し、6で作成したメインフレームを組み付けてください。  
接着が不十分な場合、過度に揺らして（揺り脚パーツ前後の突起部位に激しくぶつけて）使用すると、台座とメインフレームがはずれて製品破損及び転倒する危険があります。

注意 台座パーツの前後組み付け位置



- ・台座パーツ差し込み口断面とメインフレームの■部分（画8-3）に木工用ボンドを塗布し、組み付けてください。（画8-4～画8-5）
- ・組み付け後、座面パーツ取付位置内側にも木工用ボンドを塗布し接着してください。（画8-6）

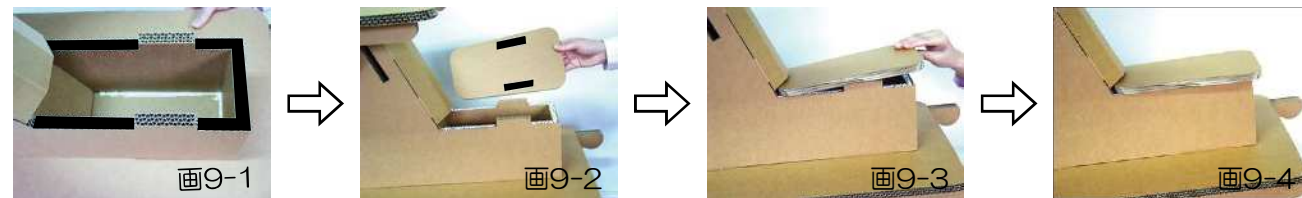




9

木工用ボンドを使用し、座面パーツを組み付けてください。

- ・黒い部分に木工用ボンドを塗布し（画9-1～画9-2）組み付けてください。（画9-3～画9-4）



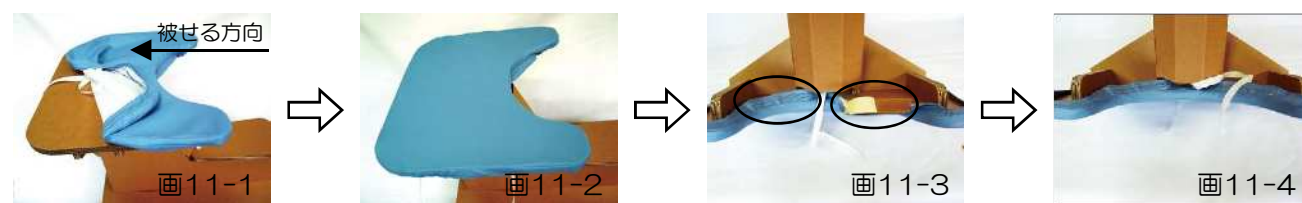
10

組み上がった本体を24時間以上（夏場）静置し、木工用ボンドを乾燥・定着させてください。

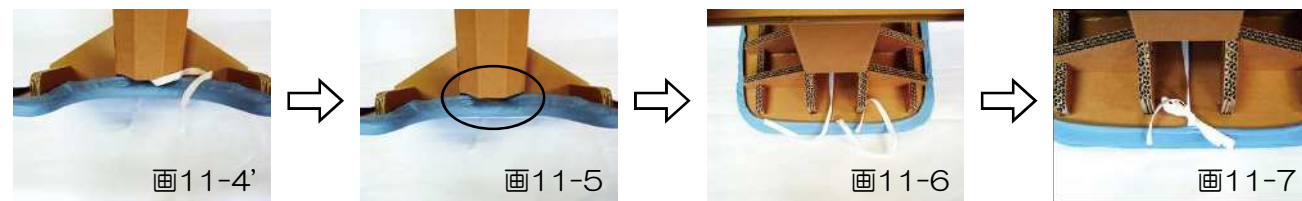
11

テーブルカバーの取り付け

- ・ヒモを巻き込まないように注意しながら、座面側から被せてください。（画11-1～画11-2）
- ・座面側のカバー裏にあるマジックテープの保護紙（画11-3の○部の2カ所）をはがしてテーブル裏に貼り付け（取り付け）てください。（画11-3～画11-4）



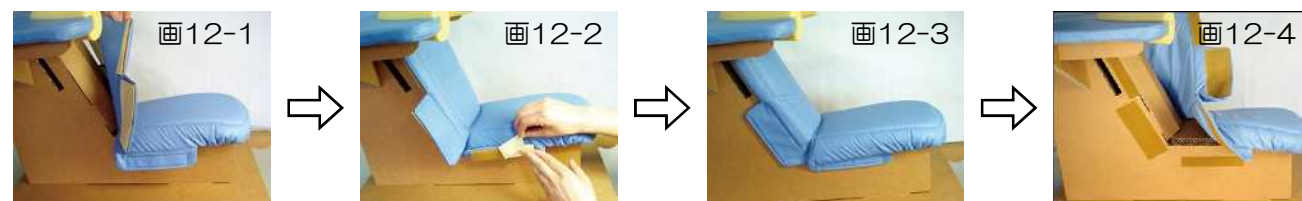
- ・座面側のヒモを穴に通し（画11-4'～画11-5）前側で結んでください。（画11-6～画11-7）



12

ポメル座面一体カバーの取り付け

- ・座面後部より被せてカバーを仮置きし、取り付け位置を決めます。（画12-1）
- ・取り付け位置が決まれば、カバー裏にあるマジックテープの保護紙をはがして貼り付け（取り付け）ます。（画12-2～画12-3）順次6カ所貼り付け（取り付け）てください。
- ・全てを貼り付け（取り付け）て、マジックテープを外すと、片側は画12-4のようになります。



13

ウレタンバーの取り付け

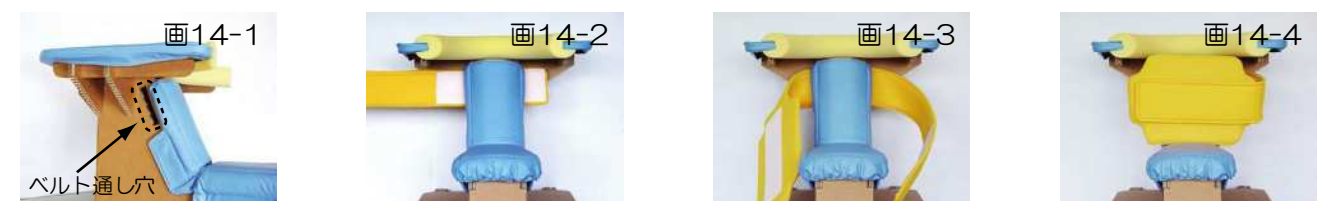
- ウレタンバーのくぼみをテーブルにはめ込んで取り付けてください。（画13-1～画13-2）
- 余ったウレタンバーはカットしてください。（画13-3）



14

サポートベルトの取り付け

- ベルト通し穴にサポートベルトを通します。（画14-1～画14-4）

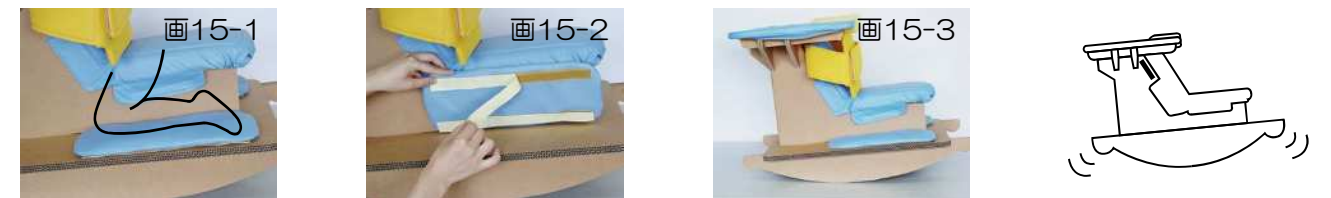


15

足パッドの取り付け

- お子様の足（膝）の位置に合わせて足パッドを配置し、裏面にあるマジックテープの保護紙をはがして貼り付け（取り付け）ます。（画15-1～画15-3）

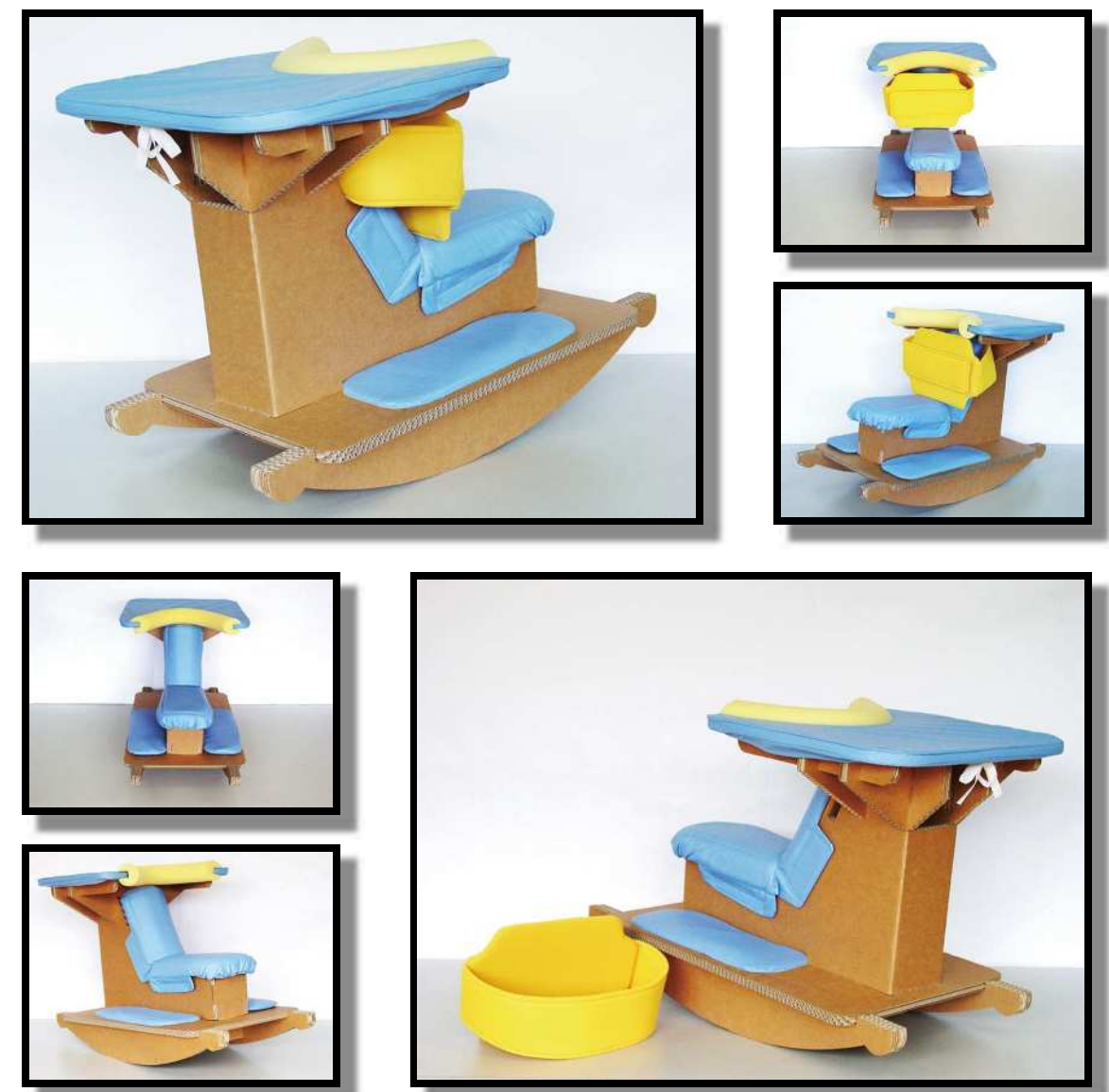
※試乗して足パッドの位置を決めることをおすすめします。  
試乗（着座）方法については、10ページの「着座方法」をご覧ください。



16

完成です。

- i トライチェアへの乗り方は、10ページの「着座方法」をご覧ください。





## 4.商品の特徴

### はじめに

iトライホースは、運動発達の遅れている（重度）障害児を対象として、前傾姿勢で座らせることにより、自発的な抗重力伸展活動を引き出すことを目的とした小児用運動訓練器具であると同時に、前後に揺り動かすことで前庭覚や固有受容覚などの感覚を適度に刺激する遊具としてもデザインされています。

療育現場に限らずご家庭や保育現場等でも運動訓練器具並びにバランス遊具としてご活用いただけます。

iトライホースは、軽量かつ強靱な特性を持ち合わせている上、100%リサイクル可能な環境にやさしい三層強化ダンボールを基本素材として使用しています。

### 目的

- 前傾姿勢に加え前後に揺り動かすことで覚醒レベルを引き上げたり運動発達を促すこと

### 対象

- 運動発達の遅れている（重度）障害児を含む児童

### 機能

- 前傾姿勢で座らせることにより 自発的な抗重力伸展活動（※1）を引き出す
- 前傾姿勢を保持した状態で前後に揺り動かすことで、前庭覚（※2）や固有受容覚（※3）などの感覚を適度に刺激し運動発達を促す
- 覚醒レベルの低い重症児に全身的な刺激を与えることで覚醒レベルを引き上げる
- バランス遊具としても活用できる
- 両脚が内転する傾向の強い児童を座らせると、自然に股関節を外転した姿勢で保つことができる

（※1）重力に逆らって活動範囲を広げるの意

（地球には引力が働いているため、人は重力に逆らって活動している）

（※2）自分の体に揺れやすさやスピード感、傾きを感じる感覚（体のバランスや姿勢を保つことなどに関係）

この感覚が鈍い場合・・・絶えず自分の体を回転させたり、走り回ったりするような行動がみられる  
この感覚が過敏な場合・・・揺れる遊具に乗ることを怖がったりする

（※3）体の筋肉や関節からの情報（筋肉の圧迫感や引き伸ばされた感じ）を感じる感覚

この感覚が鈍い場合・・・絶えず飛び跳ねているような行動が見られる

### 三層強化ダンボール

iトライホースは、三層強化ダンボールを使用していますが、その中でも強度抜群の1300グレードを使用しています。

この1300グレードは、箱圧縮強度や衝撃穴あけ強さ、破裂強さにおいて極めて高い数値をマークしています。また、下の二件の認証を得ています。



ドイツの古紙回収保証マーク  
REZYマークを取得しており  
100%リサイクル可能な素材  
であることを示す



世界76ヶ国のダンボール産業団体および企業が  
参加する国際ダンボール協会（ICCA）が策定した  
「国際リサイクル・シンボル」は  
“そのダンボールはリサイクル可能である”  
ことを世界共通で示す

### カバー

テーブルカバー及びボメル座面一体カバー、足パッドは、防水性に優れた抗菌加工レザーを使用しています。

### 着座方法

#### 【着座姿勢】

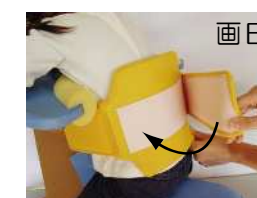
- 馬にまたがるように座面に座り、足は『膝立ち』『膝を伸ばす』『膝を折る』等、安定した姿勢または楽な姿勢をとる。（画A）
- 足パッド（マジックテープにより脱着可能）を、足の位置に合わせて調整する。（画B）  
（足パッドは『膝立ち』で使用する際の負荷軽減を第一に考慮したものです。）
- 上半身は腕をテーブルの上に置いて、胸部・腹部をボメルおよびテーブルにもたれかける。（画C）

#### 【サポートベルト】

- サポートベルト両端のうち、大きな方をお子様の背中から腰にあてがう。（画D）  
小さな方で長さを調節し、マジックテープでしっかりと接合する。（画E～画G）



サポートベルトは、急な反り返り等による転落防止補助および製品に体（胸部・腹部、腕はテーブルの上）を密着させ使用することで着座姿勢を保つためのものですが、あくまで補助的なものであり、完全に転落を防止出来るものではありませんので、保護者またはそれに準ずる方の管理の下、ご使用ください。



### 設計・監修

繁成 剛（しげなり たけし）  
長野大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授

日本義肢装具学会評議員  
日本ロービジョン学会評議員 など

日本リハ工学協会福祉機器コンテスト優秀賞 NewSRCウォーカー 1990年  
京都市福祉機器デザインコンペ京都新聞社賞 スーパーウォーカー 1990年  
第1回札幌国際デザインコンペ 佳作 ポチローラー 1992年  
第4回イケア賞（IKEA AWARD スウェーデン） 1995年



**注意** iトライホースを廃棄する場合は、ダンボール部とカバー類を分け、各市町村や自治体が定める通りに分別廃棄してください。